

華鐘コンサルタントグループ

上海華鐘コンサルタントサービス(有)
上海華鐘投資コンサルティング(有)
上海華鐘信息管理コンサルティング(有)
上海華鐘国際貿易有限公司
株式会社華鐘コンサルティング



「国家統計局認定涉外調査許可証」



「上海市信用コンサルタント会社証」



総経理古林恒雄は「上海市外国投資促進センター」と「上海市対外投資促進センター」の顧問を委嘱されております

弊グループは上海市政府のバックアップのもとに、1994年4月に中国上海市にて設立された上海華鐘コンサルタントサービス(有)を中心とする日中合弁の総合コンサルタント会社です。日本・韓国等の外国企業及び中国現地法人、中国各地区の開発区等、合わせて会員企業約730社、会員企業様向けに中国進出経営に関わるトータルソリューションを提供しています。

「上海市信用コンサルタント会社」等の認定に加えて、外資系コンサルタント会社では初の「涉外代理資格(外国企業の代理申請が出来る資格)」と「国家統計局涉外調査許可企業(外国企業から受託して全国、全産業の調査を行える企業)」の資格を有すると共に、董事長の古林恒雄は42年にわたる中国事業の経験を買われて「上海市外商投資協会」常務理事副会長、涉外諮詢分会副会長、「上海市外国投資促進センター」と「上海市対外投資促進センター」高級顧問をはじめ、江蘇省、浙江省、山東省、広東省などの各都市人民政府、開発区などの顧問などを委嘱されております。

私どもは今後とも、中国進出と現地法人経営のあらゆる分野でお役に立てる総合的コンサルタント会社としてさらに努力を重ねてまいります。

主要業務ご案内

- ★ 中国進出に関するマーケットリサーチ、企業信用調査
 - ★ 会社設立に関する手続支援及びコンサルティング
 - ★ 労務、人事、法務等に関わるコンサルティング
 - ★ 会社財務・会計・税務全般の支援とコンサルティング
 - ★ 工場建設に関する各種許認可取得支援と施工管理
 - ★ M&Aに関わる資産評価及びデューデリジェンス業務
 - ★ 商標登録出願申請に関する支援
 - ★ 合併、分社化、買収、合併撤退、清算等に関する支援業務
- ★ ISO、QS品質管理システム構築と認証取得コンサルティング
 - ★ 社内ITシステム構築、企業IT安全コンサルティング、ERPシステム導入コンサルティング関連業務

会員制度ご案内

- ★ 2万円/年(入会費:無し)
 - ★ 会費内でご利用いただけるコンサルティングサービス
- (1)面談、(2)日刊、週刊及び月刊の華鐘通信送付、(3)E-mailベースによる中国ビジネス相談、(4)会員パスワードによる弊社データベース検索ダウンロード、(5)会社設立等の有償業務の契約(案)の作成
- ★ ご入会方法:別添「会員登録票」と「会員サービス覚書」に必要事項ご記入のうえ、FAXにてお送り下さい。同入会書類は弊社ホームページ(<https://www.shcs.com.cn>)からもダウンロード頂けます。

会社概要ご案内

- ★ 住所 上海市淮海中路 755 号新華聯大廈東樓 23 層
- ★ 設立 上海華鐘コンサルタントサービス有限会社は 1994 年 4 月 7 日
上海華鐘投資コンサルティング有限会社は 2006 年 4 月 27 日
- ★ 資本金 上海 2 社合わせて 13,600 万円 (2019 年現在)
- ★ 出資者 (株)華鐘コンサルティング 60%、上海紡織対外経済技術合作有限公司 40%

連絡先

★ 上海華鐘投資コンサルティング有限会社

上海華鐘コンサルタントサービス有限会社

- ・住所 〒200020 上海市淮海中路 755 号新華聯大廈東樓 23 層
- ・電話番号 +86-(0)21-6467-1198 :担当者 張曉玲(会員部部長)
- ・FAX 番号 +86-(0)21-6467-9155 Email アドレス shcs@shcs.com.cn
- ・Homepage アドレス <http://www.shcs.com.cn> <http://www.shcs.jp>

★ 北京分公司

- ・住所 〒100027 北京市朝陽区東三環北路 3 号幸福大廈 A 座 11 樓 1115 室
- ・電話番号 +86-(0)10-8451-1257、1287 :担当者 趙姝(日本語可)
- ・FAX 番号 +86-(0)10-8451-1217 Email アドレス zhaoshu@shcs.com.cn

★ 広州分公司

- ・住所 〒510620 広州市林和西路 9 号耀中広場 B 座 1209 室
- ・電話番号 +86-(0)20-3801-1800 :担当者 許進(主任、日本語可)
- ・FAX 番号 +86-(0)20-3801-1810 Email アドレス xujin@shcs.com.cn

★ 蘇州分公司

- ・住所 〒215028 蘇州工業園区旺墩路 188 号建屋大廈 1203 室
- ・電話番号 +86-(0) 512-6809-4510 :担当者 李金姫(主任、日本語可)
- ・FAX 番号 +86-(0) 512-6809-9013 Email アドレス lijinji@shcs.com.cn

★ 上海華鐘信息管理コンサルティング有限会社

- ・住所 〒200020 上海市淮海中路 755 号 新華聯大廈 23 樓 C 室
- ・電話番号 +86-(0)21-6415-5323 :担当者 古林 将一(総経理)
- ・FAX 番号 +86-(0)21-6415-5323 Email アドレス shis@shcs.com.cn

★ 上海華鐘国際貿易有限公司

- ・住所 〒200131 中国(上海)自由貿易試験区冰克路 500 号 3 幢 3 層 315 室
- ・電話番号 +86-(0)21-6467-1198 :担当者 古林 将一(総経理)

★ 大阪 株式会社華鐘コンサルティング

- ・住所 〒541-0045 日本国大阪府中央区道修町二丁目 2 番 11 号ベルロード道修町ビル 4 階
- ・電話番号 +81-(0)6-6232-0775 :担当者 陳庚(コンサルティング部長、日本語可)
- ・FAX 番号 +81-(0)6-6232-0776 Email アドレス osaka.jhcs@shcs.co.jp

★ 東京 株式会社華鐘コンサルティング東京事務所

- ・住所 〒103-0026 日本国東京都中央区日本橋兜町 9-5 JWS 兜町ビル 1007 号
- ・電話番号 +81-(0) 3-5643-7353 :担当者 高倉洋一(所長兼コンサルティング部長)
- ・FAX 番号 +81-(0) 3-5643-7354 Email アドレス takakura@shcs.co.jp

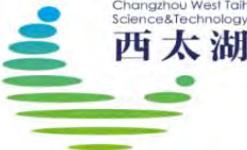
提携関係にある開発区及びパートナーの紹介

上海・金山工業区	HomePage jsgyq.jinshan.gov.cn
 <p>JINSHAN INDUSTRIAL ZONE</p>	<p>上海市の市級金山工業区は2003年に設立されました。同開発区は上海市南西部の、浙江省に隣接する杭州湾の北岸にあります。また上海市、浙江省杭州市、寧波市、舟山群島の中心部に位置し、長江デルタ地域全体をカバーできるという有利性を持っており、現在まさに上海市製造業の転換・レベルアップと、杭州湾北岸の先進製造業の基地建設の重要な一部分となっています。</p> <p>金山工業区はバイオ医薬、新材料、先進装備製造、グリーンプリンティング、食品加工、光電の発展に重点を置いており、2011年9月、上海市商務委員会の認可を得て、工業区内に上海金山日本中小企業産業園を設立しました。同産業園の総面積は2.2平方キロメートルで、金山工業区が機械設備と電子情報化産業、新エネルギーと省エネ環境産業、新素材、バイオ医薬、自動車、食品加工、グリーンプリンティング等の専門園区を形成しているメリットを生かし、専・精・特・新(先端、精密、オンリーワン、新型)という特徴を持つ日本の中小企業の移転を誘致しています。中小企業は産業園へ、大中型企業は金山工業区への進出を提案しており、商業貿易企業の進出も歓迎しています。</p>
江蘇・南通経済技術開発区	HomePage: www.netda.gov.cn
	<p>南通経済技術開発区は、1984年に設置された14ヶ所の国家級開発区の1つであり、管轄面積が184km²で、揚子江デルタ地域で外資系企業の集中的な製造基地となっており、「蘇通大橋」、「崇啓大橋」、「滬通高鉄」などの交通ルートの建設に従い、上海1時間の経済圏で最も潜在力持ちの発展地となっている。</p> <p>当開発区は、国家環境保護総局から「ISO14000」国家模範区の称号が授与され、中国権威機構より選ばれた多国籍企業の進出において最も投資価値のあるトップ10の開発区であり、多国籍企業投資の最適な開発区でもあり、江蘇省政府から「社会治安安全区」の称号も授与されている。30カ国と地域からの投資者により、累計で約800社の外資系企業が設立されており、投資総額は200億ドル以上に達した。その内、日系企業が200社余りほど進出しており、世界ベスト500社の企業より、投資案件が約80件ほど達した。智能製造、チップ、センサー部品、ビッグデータ等の産業を重点的に発展させる。「チップ・バレー」、「センサー・パーク」「智能製造園」、「国際データセンター産業園」等の産業特化パークと「能達ビジネス区」、「中央イノベーション・エリア」の功能区からなっている。</p>
江蘇・蘇通科技産業園	HomePage: www.stpac.gov.cn
	<p>2009年に設立された蘇通科技産業園は、江蘇省の「沿海開発」と「長江兩岸連合開発」の重点プロジェクトとして位置づけられ、またシンガポールと江蘇省との重要な提携園区です。</p> <p>総開発計画面積は50平方キロで、蘇州工業園区の成功経験を踏まえ、シンガポールの先進的な計画開発理念及び国際レベルの管理体制を用いて、10年～15年の開発・建設を経て、蘇通科技産業園を生産・生活・商業貿易を一体化したハイテク、エコ、国際的、総合的な「江海エコ都市、国際イノベーションパーク」とする予定です。</p>

江蘇・常熟経済技術開発区	HomePage: www.cedz.org
 <p>常熟経済技術開発区は華東地区に位置する国家級の開発区であり、上海市街地まで 80KM、蘇州市と無錫市まで何れも 40KM の好立地で、開発面積は 71 km² があります。1992 年創立以来、600 社余りの外商投資企業が既に進出し、総投資額は 382 億米ドルを超えています。G15 沈海高速道路、S38 常合高速道路及び上海からの高速鉄道が当開発区を通り、また、国際港である常熟港も区内にあり、交通の便が良く、製造業と物流業の理想の投資場所です。奇瑞ジャガーランドローバー自動車、觀致自動車の進出に伴い、当開発区は自動車及び自動車部品産業を柱産業として育成しています。その他に設備装置、機械部品、新型エネルギー、新型素材、次世代通信技術などの製造業以外に、地域統括本社、研究開発センター及び地域販売統括会社も積極的に誘致に取り組んでいます。</p> <p>当開発区には電気、上水、排水、ガス、蒸気、産廃処理等「十通一平」というインフラ施設が整っており、従業員も安定に確保できます。また、レンタル工場があり、機械設備製造、自動車部品、電子組立等の産業でもご利用頂けます。それ以外、市場監督管理局、税関、商品検査検疫局等の政府行政部署が当開発区内に事務所を設置して、現地法人の設立から稼働運営までワンストップサービスを提供しています。</p>	

江蘇・太倉市招商局	HomePage: invest.taicang.gov.cn
 <p>太倉市は江蘇省蘇州に立地し、中国沿海経済圏と長江デルタ経済圏の交わる所にあります。東は長江に臨み、南は上海市に繋がり、西は昆山市に接し、北は常熟市と隣接しています。総面積は 823 km²、常駐人口は 103 万人です。車で 30 分の距離に上海虹橋空港があり、1 時間の距離に上海浦東空港、上海市都心部、蘇州市都心部に到着することが出来ます。沪蘇通鉄道第一期（虹橋行き）が 2020 年 7 月 1 日に開通し、太倉駅から上海虹橋駅まで 20 分かかります。上海をつなぐ新幹線の計画も正式的決まり、交通が更に便利化されます。将来的には、沪蘇通鉄道第二期（浦東行き）、南沿江鉄道、北沿江鉄道、蘇州無錫常州都市間鉄道など、合わせて六つの鉄道が太倉で合流します。太倉港は江蘇省第一外貿大港湾であり、上海国際航運センターの幹線港湾でもあって、現在日本、韓国等 200 ラインの国際国内航路が開通しています。太倉はすでに 2001 年にドイツの「デュアル」教育の導入に成功し、中等専門学校から大学までの完全な職業訓練システムを確立し、1 万人を超える管理人材と専門技術者を提供してきた。また、西北工業大学と西安交通一リバプール合弁大学という二つの一流大学の太倉キャンパスが建設中であり、2021 年で完成し合わせて 15,000 人の学生の見込みです。太倉市の管轄下には国家級の太倉港経済技術開発区と省級太倉ハイテク経済産業開発区があり、開発区のインフラ基盤施設は「九通一平」が整備され、現在既に P&G、ナイキ、シェフラー、ボッシュ、ユニレーバー、三井造船、本田、ニトリ等の外資企業 1,500 社余が進出済みであり、そのうち日本企業 173 社、ドイツ企業 340 社があります。太倉は中国・ドイツ企業合作基地、中国製造業ベスト 10 投資都市、長江デルタ最善投資価値開発区の一つに称されています。現段階、太倉市は重点的に自動車部品、精密機械、バイオメディシン、新機能材料、物流貿易、航空工業、人工知能等の産業を発展させています。</p>	

江蘇・常州国家高新技术産業開発区	HomePage: cznd.changzhou.gov.cn
 <p>常州国家高新技术産業開発区は長江の南に位置し、長江デルタ地域の中心部に立地しています。1992年、第1グループとして認可成立された国家級ハイテク高新技术産業開発区の1つであり、総面積は508km²、人口は約70万人です。区内のインフラ基盤は整っており、交通の便が良く、港湾、空港、高速鉄道、高速道路の全てが揃っています。</p> <p>全区には計4万数社の企業が存在しており、このうち1.1万社以上が工業企業です。現時点での全区の外資導入実績は100億米ドルを突破しており、外資企業の入居数は1,800社超となっています。常州の産業新レイアウトに基づき、常州国家高新技术産業開発区はAI 装備製造、新エネルギー、新素材、新エネルギー車・自動車コア部品、新世代情報技術、新医薬・バイオ技術、ハイエンド軌道交通装備、航空装備、省エネ環境保護、スマートグリッドなどの産業を重点的に発展させる方針です。また2020年には、中日インテリジェント製造(常州)産業パークの建設をスタートする予定です。同パークの敷地面積は149 km²で、日本のハイエンド製造業企業、新エネルギー車関連企業、ハイレベル技術や高付加価値製品を生産する企業、業界の“隠れチャンピオン”企業を重点的に誘致すると同時に、自動車部品メーカーとサプライヤーの誘致にも注力します。投資意向のある企業様の現地訪問視察をお待ちしております。</p>	

江蘇・常州西太湖科技産業園	HomePage: www.wj.gov.cn
 <p>常州西太湖科技産業園は2006年設立され、常州市武進区に立地し、所在の常州市は揚子江デルタにおける重要なイノベーションと製造基地で、国から全国文明都市、中国ベスト投資環境都市、中国ベスト生活環境都市など様々な賞を授与されています。</p> <p>園区は上海と南京の二大都市の中間に位置し、地理位置は特に恵まれ、面積164平方キロメートルの湖と隣接し生態環境は優美です。武進は国連より「ベスト居住都市」賞を受け、また長年連続で「中国投資理想の中小都市(区)百強」の第一位を取得し常州西太湖科技産業園は江蘇省政府の認可により設立されました省級経済開発区で、総面積は70平方km、医療健康産業、新素材産業、ハイエンド装備製造業、Eコマース産業をリード産業として重点的に発展させるクリーン工業区、それに日本企業向けの『日本中小企業工業園』も目指して発展しております。入居敷居なし、土地代、家賃、税金、人材政策等特別な優遇があります。</p> <p>産業園区は「法治、誠心誠意、効率、Win-Win」を理念とし、全過程、全方位の良質サービスを提供致しますので、日本企業の投資を大歓迎致します。</p>	

江蘇・常州経済開発区	HomePage: jkq.changzhou.gov.cn
 <p>江蘇常州経済開発区は常州市東部に位置し、長江デルタ経済圏まで1時間圏内の中心部に在り、南京市や上海市までも同等の距離となっています。</p> <p>開発区は成立以降3年間、産業の構造転換・レベルアップと東部新都市建設の二大コア任務を着実に実行。先進的な軌道交通設備、機能性新素材、インテリジェント・モーター、スマートホームの4つの特色ある産業に焦点を当て、川上・川下産業チェーンの延伸と統合を強化し、影響力・牽引力の強い産業群を形成しました。</p> <p>開発区の面積は181 km²、一定規模以上の企業数は約560社となっています。現時点での区内の上場企業数は9社に上り、上場準備中の企業は25社、ベンチャー向け株式市場「新三板」上場企業は12社で、資金調達額は計98億元。重点工業企業、重点産業の発展動向は良好であり、そのテコの役割は日々顕著になって来ています。</p>	

江蘇・江陰市招商局	HomePage: www.jiangyin.gov.cn
<p>江陰市は中国東部の沿海に位置し、長江デルタの幾何学中心として、15 キロの半径範囲内で上海、江蘇、浙江などの省都の多くの都市をカバーしている。周辺の 15 時間の経済圏には 5 つの国際空港がある。</p> <p>江陰市の重点園区の主導産業について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 江陰臨港経済開発区 (200 km²) 金属系新素材、新エネルギー、機械装備、ケミカルマテリアル、総合保税区、港湾物流、ハイテクイノベーション等。 ➤ 江陰国家高新区 (106.8 km²) 【主要エリア】特殊鋼新素材及び製品、機械のスマート製造、マイクロエレクトロニクス・IC、新エネルギー車及び主要部品、現代漢方薬及びバイオ医薬、現代サービス業等。 【青陽園区】先進軌道交通設備、医療器械、新エネルギー車及び部品、ワイド画面ディスプレイ及び付帯材料等。 ➤ 江陰-靖江工業園区 (60 km²) 船舶製造、自動社部品、高精度鉄骨構造物、冶金・新素材、港湾物流等。 	

浙江・嘉興経済技術開発区	HomePage: www.jxedz.gov.cn
	<p>嘉興経済技術開発区は 1992 年 8 月に設立され、嘉興市都市部と緊密につながる都市型開発区であり、浙江省五つ重点開発区の一つでもあります。2010 年 3 月に国務院より国家級開発区に昇格されました。開発区の計画面積は 110KM²、人口は 30 万人です。今、開発区には外資企業 670 社余り、中に日系企業 60 社余りがあり、自動車部品、精密機械、食品加工の産業群が形成されました。開発区は産業転換とアップグレードモデル区、科学教育商業総合区、国際商務区、先進製造業団地に分けられて、重点的に自動車部品、装備製造、食品、半導体産業、5G 設備製造などの先進製造業と現代サービス業を誘致しています。</p>

浙江・嘉興港区	HomePage: www.zhapu.gov.cn
	<p>嘉興港区は①浙江省レベルの乍浦経済開発区②国家レベルの嘉興綜合保税区③濱海新城——の 3 区で構成され、嘉興港に隣接する人口 20 万人、面積 54 平方キロメートルのエリアです。主に飛行機、自動車及び関連部品等の先端設備製造産業、電子情報産業、物流産業、商業サービス、ヘルスケア産業の誘致に注力し、迅速で優れたサービスを提供しています。</p> <p>嘉興港はコンテナ、鉄鉱石、原油、液体化学品、バラ積貨物等を取り扱い、最大 5 万トン級の船舶の停泊が可能です。これまでに進出している海外企業は主に日本、米国、カナダ、フランス、スペイン、イタリア、シンガポール、韓国、台湾、香港等の国・地域で、この内、日系企業では帝人化成株式会社のポリカーボネート、株式会社トクヤマの乾式シリカ、岩谷産業株式会社の産業ガス、日本通運株式会社の物流倉庫などのプロジェクトがあります。</p>

浙江・平湖経済技術開発区	HomePage: www.pinghu.com
 <p>平湖経済技術開発区は国家級の開発区であり、浙江省嘉興市に属し、上海市、杭州市、寧波市、蘇州市の4都市経済圏の交差中心に位置し、管轄面積は65 km²です。また、浙江省・省級信息産業特色園区、浙江省政府認可の唯一の日系企業投資区、国家(嘉興)機電部品産業園、国家炬火計画平湖光機電産業基地も認可されています。2015年に浙江省唯一の「中日産業合作園」と認められました。当開発区への交通が非常に便利で、上海虹橋空港迄車で約50分（高速鉄道で最速22分）、浦東空港迄同約70分、九龍山リゾート区迄約20分しかかかりません。</p> <p>当開発区はバイオ医薬（食品）産業、自動車部品産業、ハイテク設備製造業を重点的に誘致しています。現在、区内に入居した外資系企業は約300社（そのうち、日系企業は約130社）あり、世界的有名な企業として、JFE、神戸製鋼、愛知製鋼、岡谷鋼機、日本電産、日清食品、ハウス食品、三菱化学フーズ、森永製菓、韓国SK、POSCO、サムソン、CJ、アメリカLEAR、Cargill、ADM、タイCP、ドイツのティッセンクルップ、LIEBHERR、台湾南六企業など数十社が挙げられます。</p>	<p>平湖経済技術開発区は国家級の開発区であり、浙江省嘉興市に属し、上海市、杭州市、寧波市、蘇州市の4都市経済圏の交差中心に位置し、管轄面積は65 km²です。また、浙江省・省級信息産業特色園区、浙江省政府認可の唯一の日系企業投資区、国家(嘉興)機電部品産業園、国家炬火計画平湖光機電産業基地も認可されています。2015年に浙江省唯一の「中日産業合作園」と認められました。当開発区への交通が非常に便利で、上海虹橋空港迄車で約50分（高速鉄道で最速22分）、浦東空港迄同約70分、九龍山リゾート区迄約20分しかかかりません。</p> <p>当開発区はバイオ医薬（食品）産業、自動車部品産業、ハイテク設備製造業を重点的に誘致しています。現在、区内に入居した外資系企業は約300社（そのうち、日系企業は約130社）あり、世界的有名な企業として、JFE、神戸製鋼、愛知製鋼、岡谷鋼機、日本電産、日清食品、ハウス食品、三菱化学フーズ、森永製菓、韓国SK、POSCO、サムソン、CJ、アメリカLEAR、Cargill、ADM、タイCP、ドイツのティッセンクルップ、LIEBHERR、台湾南六企業など数十社が挙げられます。</p>
浙江・独山港経済開発区	HomePage: www.dpdz.gov.cn
 <p>浙江独山港経済開発区は省級の経済開発区で、長江デルタ地域の中心である上海市に隣接しています。また上海浦東国際空港や上海虹橋国際空港などの三大空港まではいずれも車で約1時間の距離で、非常に良い環境に恵まれています。</p> <p>独山港経済開発区は国家1類の港湾を擁し、石油化学ふ頭、コンテナふ頭、雑貨ふ頭を建設・保有しています。上海国際輸送センターを構成する重要な地域でもあり、国内最大のコンテナ港である洋山港からの距離は約74キロメートルです。</p> <p>当開発区の計画面積は111.9平方キロメートルで、ファインケミカル、設備製造、港湾物流を主要産業とし、現在は多くの外資企業が入居しています。</p>	<p>浙江独山港経済開発区は省級の経済開発区で、長江デルタ地域の中心である上海市に隣接しています。また上海浦東国際空港や上海虹橋国際空港などの三大空港まではいずれも車で約1時間の距離で、非常に良い環境に恵まれています。</p> <p>独山港経済開発区は国家1類の港湾を擁し、石油化学ふ頭、コンテナふ頭、雑貨ふ頭を建設・保有しています。上海国際輸送センターを構成する重要な地域でもあり、国内最大のコンテナ港である洋山港からの距離は約74キロメートルです。</p> <p>当開発区の計画面積は111.9平方キロメートルで、ファインケミカル、設備製造、港湾物流を主要産業とし、現在は多くの外資企業が入居しています。</p>
天津・天津経済技術開発区	HomePage: www.teda.gov.cn
 <p>天津経済技術開発区は天津市濱海新区に立地し、1984年に成立した国务院が批准した全国初回国家級開発区であり、計画面積は460 km²であって、中国(天津)自由貿易試験区を構成する重要な部分であり、主要経済指標と総合発展水準は国家級開発区の中では連続19年間上位にランクインしています。</p> <p>現在、天津経済技術開発区は既に自動車、電子、石油化学を柱とした三大千億元級の産業クラスター、装備製造、医薬大健康を柱とした二大500百億元級の産業クラスターを形成しています。眼下では正に本部経済、現代金融、クロスボーダー電子ビジネス、現代物流に代表される現代サービス業産業クラスターと情報技術、スマート製造、新エネルギー新素材、省エネ環境保護、海洋経済に代表される新興産業クラスターの発展にフォーカスしています。天津経済技術開発区は全国で経済規模が最大で、総合投資環境が最も優れた世界一流の産業ニュータウンとなるべく努力しています。</p>	<p>天津経済技術開発区は天津市濱海新区に立地し、1984年に成立した国务院が批准した全国初回国家級開発区であり、計画面積は460 km²であって、中国(天津)自由貿易試験区を構成する重要な部分であり、主要経済指標と総合発展水準は国家級開発区の中では連続19年間上位にランクインしています。</p> <p>現在、天津経済技術開発区は既に自動車、電子、石油化学を柱とした三大千億元級の産業クラスター、装備製造、医薬大健康を柱とした二大500百億元級の産業クラスターを形成しています。眼下では正に本部経済、現代金融、クロスボーダー電子ビジネス、現代物流に代表される現代サービス業産業クラスターと情報技術、スマート製造、新エネルギー新素材、省エネ環境保護、海洋経済に代表される新興産業クラスターの発展にフォーカスしています。天津経済技術開発区は全国で経済規模が最大で、総合投資環境が最も優れた世界一流の産業ニュータウンとなるべく努力しています。</p>

<p>山東・東營經濟技術開發区</p>	<p>HomePage: www.dyedz.gov.cn</p>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p>DYETDZ</p> </div> <div style="flex: 3; padding-left: 10px;"> <p>東營經濟技術開發区は黄河デルタ地域における初の国家級開發区です。全国 219 の国家級開發区におけるランキングは第 58 位であり、山東省の 15 の国家級開發区のランキングでは第 3 位です。</p> <p>東營經濟技術開發区は黄河デルタ地域の中心都市であって、中国第 2 位の大油田である勝利油田の所在都市である東營市にあります。東營市の面積は 8,243 km²、人口は 217 万人、優れた地理的位置にあって自然資源は豊富であり、産業基盤は確固としており、環境は優美で住み易く、全国文明都市、中国優秀観光都市、第 1 組国際湿地都市であって、中国東部の最も発展潜在力のある地域の 1 つでもあります。主導産業としては石油化工、タイヤゴム、石油装備、非鉄金属、新素材等であり、新素材、交通装備製造、航空宇宙産業を重点的に発展させます。</p> <p>東營經濟技術開發区は「重商、親商、安商、扶商」の理念に基づき、日本企業の東營經濟技術開發区での投資興業を歓迎致します。</p> </div> </div>	

<p>広東・仏山市南海区</p>	<p>HomePage: www.nh.jmw.gov.cn</p>
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 3; padding-left: 10px;"> <p>仏山市南海区は広東省中部(珠江デルタ地域の核心)に立地し、香港・マカオの近くに在ります。全区人口は 285 万人、面積は 1,073 km²、GDP は 2,980 億元(2018 年)、この 3 種類のデータは仏山市(5 つの区を所轄)の 3 分の 1 を占めています。</p> <p>中国改革開放が最も早く展開し、経済が最も活発化した地区として、南海区は自動車製造、アルミ型材、新素材、新光源、環境保護、医薬等の産業が集積し、仏山市高新区(国家級)等 10 のテーマ開發区を計画し建設しました。2014 年、南海区は国連開發計画(UNDP)と中国科学技術部との『中国水素燃料電池自動車商業化發展プロジェクト』モデル都市の 1 つ(全国合計 5 都市)にリストアップされ、2017 年には率先して全国初の商業化運営水素補給スタンドを始動させました。このバックグラウンドの下、南海区はその充実した自動車産業をベースとして水素燃料電池自動車産業の發展に力を入れ、トヨタ自動車株式会社、四川豊田汽車有限公司、豊田通商、三菱通商、三井物産、東レ株式会社、地方自治体横浜市、現代自動車等水素エネルギー関連企業や政府の視察を受入れて来ました。計画では 2019 年に区内に 10 ヶ所の水素補給スタンドが完成します。</p> <p>ここ数年、既に進出している日系企業の全体的経営状況は良好です。企業の持続的安定した健全な發展をサポートする為、仏山市南海区經濟・科学技術促進局は日本企業の誘致業務を更に強化し、従来の日本企業誘致部隊をベースとして、2016 年 4 月、上海市長寧区に南海区駐上海投資促進代表処を設立し、華東地区の日系企業の情報を専門的に収集し、その投資需要に対応します。実務において、日本側仲介機関、銀行、企業と密接な連絡を取りながら、プロジェクト交渉過程において、政策の実行から、区級各部門間の調整、開發区との意思疎通、土地区画(工場建物、キャリア)の立地選択等の分野でプロジェクトのサポートを実施し、企業の進出に対し全力を挙げて協力しています。</p> </div> </div>	



2020 年秋季セミナー資料編

2020 年 11 月

華鐘コンサルタントグループ



上海華鐘コンサルタントサービス有限公司



上海華鐘投資コンサルティンク有限公司



上海華鐘信息管理コンサルティンク有限公司



上海華鐘国際貿易有限公司



株式会社華鐘コンサルティンク